

一 般 質 問 通 告 書

令和 8 年 8 月 1 9 日

高島市議会議長 河越 安実治 様

高島市議会議員 3 番 吉里 浩恵

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が 2 以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

- ・ 質問番号 1 の用紙にだけご記入ください。
- ・ 質問が一つだけの場合は必然的に 1 となりますので、記入は不要です。

初問は { 1. 全項目一括質問一括答弁
②. 項目ごとに一括質問一括答弁

(質問番号 2) 発 言 事 項	大規模災害に備えたライフライン復旧体制の強化について
要 旨 (項目だけでなく、質問の趣旨が理解できるように記入してください。)	
令和6年能登半島地震では、上下水道をはじめとする生活インフラの被害が、市民生活の再建と地域の復旧・復興に大きな影響を及ぼした。また、令和8年熊本県八代市を中心とする地震においても、上下水道などのライフライン被害により、多くの被災者が断水など不便な生活を余儀なくされており、生活インフラの早期復旧が強く求められている。 私は珠洲市を視察し、道路や公共施設の復旧だけでなく、ライフラインが一日も早く復旧することが、住民が安心して生活を再開し、地域が復旧・復興へ向かうための最も重要な基盤であることを実感した。 災害時には、自助・共助・公助がそれぞれ重要な役割を担うが、水道・下水道などの生活インフラの復旧は、市民生活を支える行政の重要な責務である。その責務を果たすためには、平時から地域の専門事業者との連携体制を構築し、実効性のある復旧体制を整備しておくことが必要である。 珠洲市では、震災前から地域防災計画の中で管工事協同組合を防災上重要な団体として位置付け、市との災害協定を締結していた。また、八代市では	

管工事業協同組合との災害協定や合同訓練を通じ、ライフライン復旧体制の強化を図っている。

本市においても、地域防災計画にライフライン復旧は位置付けられているが、近年頻発する大規模災害を踏まえ、市民生活を一日も早く取り戻すための復旧体制について、改めて検証し、更なる強化を図る必要があると考え、以下について伺う。

(1)

本市地域防災計画では、上下水道など生活インフラの復旧をどのように位置付けているのか。また、大規模災害時の応急復旧体制はどのような考え方で構築しているのか。

(2)

上下水道施設等の応急復旧にあたり、地域の管工事業業者や関係事業者との連携は現在どのような体制となっているのか。また、現状の課題をどのように認識しているのか。

(3)

珠洲市では管工事協同組合を地域防災計画に位置付け、市との災害協定を締結していた。また、八代市では管工事業協同組合との災害協定や合同訓練を実施している。本市においても、地域の専門事業者との連携強化や災害協定、合同訓練など、ライフラインの迅速な復旧に向けた体制づくりを進める考えはあるのか。